

大ヒット曲「冬が来る前に」でおなじみのフォークデュオ、紙ふうせんをお招きし、「命の大切さ」をテーマにしたコンサートを行います。

現在は作詞、作曲、テレビ・ラジオ出演、執筆など幅広い分野で活躍し、財団法人日本サッカー協会オフィシャル応援歌「翼を下さい」を発表しました。

日時 平成25年2月10日(日) 午後2時～4時(1時30分開場)

場所 テクスピア大阪テクスピアホール

定員 500人

対象者 市内在住・在勤・在学

の人の入場料 無料

申込 往復はがきに代表者の住所、氏名、年齢、電話番号、参加者全員の氏名と年齢、また、返信用に代表者の郵便番号、住所、氏名を記入し、〒595-1868 泉大津市役所 障がい福祉課宛に郵送

なお、一時保育や手話通訳が必要な人、車いすの人ははがきにご記入ください。

申込期間 12月1日(出)～25日(火)(必着)

問合せ 障がい福祉課(市役所1階10番窓口)



紙ふうせんの2人が
泉大津にやって来る！

25.2.10 [Sun.]
テクスピア大阪

in 泉大津
コンサート

大ヒット曲「冬が来る前に」でおなじみ！

市制 70 周年記念

クリスマス ジャズコンサート アロージャズオーケストラ with ファニーカンパニー ジャズオーケストラ

クリスマスのひととき、
素敵なジャズに
酔いしませんか？



毎年恒例のクリスマスジャズコンサートの季節がやってまいりました。今年は、市制 70 周年を記念して豪華ゲストとして、プロの最高級バンド・日本屈指のアロージャズオーケストラをお迎えします。本市のファニーカンパニージャズオーケストラとの夢の2大ビッグバンド競演をお楽しみください。

演奏曲 酒とバラの日々、恋のバカンス、セントルイス・ブルース、不思議の国のアリス ほか

日時 12月16日(日) 午後2時～4時

場所 市民会館大ホール

入場料 ▷一般 1,500 円 ▷ペア 2,000 円 (中高生半額)

チケット販売 市民会館、南・北公民館、図書館、勤労青少年ホーム、生涯学習課、総合体育館、織編館、池上曽根弥生学習館、総合福祉センターほか

問合せ 市民会館 (☎21・7050)

**商工会議所でも住民票の写しなどの
証明書が発行できるようになります。**

市民サービスコーナーが開設

12月14日(金)から商工会議所内2階にある地域経済課の「市民サービスコーナー」で次の証明書が発行できるようになります。ぜひご利用ください。

【市民サービスコーナーで発行する証明書】

①**住民票の写し・住民票記載事項証明書** (手書きのものを除く。申請はご本人またはご本人と同一世帯の人に限り)

②**印鑑登録証明書**

印鑑登録カードが必要ですので必ずご持参ください。

③**市・府民税課税証明書**

証明書が発行できない場合がありますので、必ず事前に電話などでご確認ください。申請は、ご本人またはご本人と同居で生計を共にするご家族に限りです。

開設時間 平日の午前8時45分～午後5時15分(祝祭日および12月29日から翌年1月3日を除く。受付時間は午後5時まで)

手数料 各1通300円

窓口で提示していただく本人確認書類 官公署発行の書類(住民基本台帳カード(顔写真入りのもの)、運転免許証、パスポート、健康保険証、年金証書など)

注意事項 次の手続きはできません。市役所1階の市民課で手続きをお願いします。

【市民サービスコーナーでできない手続き】

▷転入・転居・転出などの住所変更手続き

▷印鑑登録

▷戸籍に関する証明書の交付

▷戸籍の届出など

▷住民基本台帳カードや公的個人認証に係る手続き

問合せ 市民課窓口係(市役所1階4番窓口)、税務課市民税係(同7番窓口)

泉大津市有功章を 受章されました

本市では、泉大津市有功者表彰条例に基づき、本市の発展に功労のあった人を、泉大津市有功者として表彰しています。

今年度は、地方自治の分野において活躍され、本市の発展に貢献された次の3人を「市有功者」として、11月3日に市民会館にて開催した「有功者表彰式」にお招きして表彰し、有功章を贈りました。

平成24年度有功者の皆さんと主な肩書き

木野靖勇氏 【自治関係功労者】 代表監査委員

小門美智子氏 【自治関係功労者】 防犯委員会副会長

田中一吉氏 【自治関係功労者】 泉大津市議会議員

問合せ 秘書広報課(市役所4階)

平成24年度有功章受章者の皆さん



木野靖勇氏



小門美智子氏



田中一吉氏



市民会館で開催された
有功者表彰式の様子

年末年始の市役所業務スケジュール

市役所は12月29日(出)～1月3日(木)まで閉庁します。

■表1 年末年始の一般家庭ごみ収集日程表

可燃ごみ 収集コース	年末収集最終日(12月)			年始収集始業日(1月)		
	可燃 ごみ	カンビン せとも等	ペットボトル 食品トレイ・古紙	可燃 ごみ	カンビン せとも等	ペットボトル 食品トレイ・古紙
月・木曜日 コース	31日	19日	26日	7日	16日	9日
火・金曜日 コース	28日	19日	26日	4日	16日	9日
水・土曜日 コース	29日	20日	27日	5日	17日	10日

※粗大ごみ(有料)は電話申込制になっています。
(粗大ごみ電話申込センター ☎0800・123・5300 携帯電話からは0725・23・8522)

■表2 直接搬入日程表(自己搬入用)

	年 末	年 始
可燃ごみ・資源ごみ 粗大ごみ	12月28日(金)まで	1月10日(木)から

※環境課の窓口でも搬入許可書を配布しています。また、泉北環境整備施設組合のホームページからもダウンロードできます。

■市立病院 年末年始救急診察状況

月 日	救 急 診 察 状 況
12月28日(金)	休診
12月29日(土)	休診
12月30日(日)	休診
12月31日(月)	休診
1月1日(祝)	休診
1月2日(火)	小児科救急:午後11時～翌朝午前6時
1月3日(水)	内科二次救急※(吐血・下血) 午前8時30分～翌朝午前8時30分

※二次救急とは、入院が必要な症状の人、救急車で搬送が必要な人に対する救急診療のことです。

◎ごみの収集スケジュール

▷一般家庭ごみ

一般家庭ごみの年末年始の収集日については、表1のとおりです。

▷粗大ごみ(電話またはインターネットで要申込)

年内の粗大ごみ収集をご希望の人は、12月21日(金)までに粗大ごみ電話申込センター(☎0800・123・5300)、携帯電話からは0725・23・8522にお申し込みください。また、インターネットからもお申し込みができます。

粗大ごみ収集予約=https://s-kantan.com/sodai-izumiotsu-u/

年末の申し込みは混雑が予想されますので、お早めをお願いします。なお、粗大ごみ申込センターの受付業務は、年末は12月28日(金)まで、年始は翌年1月4日(金)からとなります。

▷焼却場へ直接搬入する場合

多量のごみや事業所・商店などのごみを直接ごみ焼却場(泉北クリーンセンター=和泉市舞町87番地 ☎41・2030)に搬入する場合の年末年始の日程は表2のとおりです。

◎ふれあいバスの運休について

市では、60歳以上の人や障がい者、妊産婦、乳児連れの人などの積極的な社会参加を支援するために、市内の公共施設などを循環する「ふれあいバス」を運行しています。年末年始は、次のとおり運休します。

運休日 12月29日(出)～平成25年1月3日(木)

問合せ 高齢介護課(市役所1階6番窓口)

◎戸籍関係の届けや市営葬儀など

死亡届など戸籍関係の届け出や市営葬儀の受け付けは、年末年始の休み期間中でも市役所当直室(市庁舎地階)で取り扱います。

火葬場は1月1日(祝)、2日(火)が休みです。市営葬儀の飾り付け業務は、1月2日(火)から行います。

問合せ 市民課(市役所1階4番窓口)

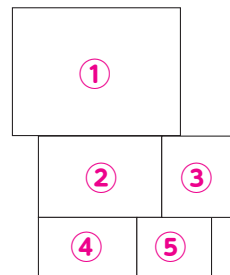


このような症状が続く場合は、
内視鏡担当医（消化器専門医）へ
ご相談ください。

●**普段** すっぱい胃液の逆流。胸やけ。胃もたれ。胃の痛み。空腹時にみぞおちが痛む。背中になにが痛い痛みがある。食欲がない。体重の減少。

●**食事** 食後に胸やけがある。形のあるものを食べると喉につかえる。食物を食べると痛みが治まる。

●**排便** 一日の排便件数が多い。便が黒い。便に血が混じっている。便秘がちである。下痢が続く。細い便が出ることが多い。



①内視鏡検査のようす。口から内視鏡を挿入し、検査を行います。病変が見つければ、そのまま切除などの処置をすることもできます

②内視鏡センタースタッフがやさしくお出迎えます

③市立病院北棟5階にある内視鏡センターの入口

④内視鏡検査前に安全に内視鏡検査が可能か診察を行います。なお、患者さんが服用している薬によっては、検査できない場合があります

⑤上部内視鏡（胃カメラ）では前処置としてのどに麻酔を行い、下部内視鏡（大腸カメラ）では下剤服用中に腸の動きを活発にし排便を促すためマッサージを行う場所です



内視鏡センター よくある質問

●検査の時間は何分ぐらいですか？

上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）は10～15分ぐらい、下部消化管内視鏡（大腸ファイバー）は30～60分ぐらいで終わります。しかし、それぞれの検査に前処置があったり、病変が見つかった場合に処置がありますので、胃カメラに関しては午前中、大腸ファイバーに関しては一日かかるとご想定下さい。

●内視鏡検査は苦しくないですか？

内視鏡検査時の患者の負担軽減のため、当院では麻酔（セデーション）をお勧めしています。

上部消化管内視鏡（胃カメラ）などの内視挿入時、個人差はありますが咽頭反射により「おえっ」とえずきます。また、空気を胃の中を送気し、胃を膨らませて観察するなど、検査自体はけっして楽ではありませんが、麻酔をすることにより、眠っている間に検査ができるように配慮しています。

なお、麻酔をさますお薬を注射してから帰っていただきますが、帰る途中にふらつくことがありますので、自動車・自転車などの運転は控えていただいております。

●鼻からの内視鏡（経鼻内視鏡検査）はあまり苦しくないと聞いていますが、市立病院ではできませんか？

当院では原則、経鼻内視鏡検査はしていません。

経鼻内視鏡は、口から入れる内視鏡に比べて細く、基本的にカメラ機能しかついていません。そのため、検査で病変が見つかったときに、病変を切り取る処置や細胞を採ることができず、再度、口からの内視鏡を受けていただくことになるからです。

また、検査時の苦痛については、麻酔（セデーション）を行うなど、苦しみの軽減に努めています。

内視鏡センター のご案内

エキスパート揃いの十分な医師体制を確保し、異常の
発見から治療までを一貫して行えます。

市立病院では、「周産期・小児医療」「消化器疾患医療」「生活習慣病医療」に力を入れ、それぞれの領域に専門医を招き、患者さんが安心して治療を受けることができる病院を目指しています。

この三本柱の一つ「消化器疾患医療」については、消化器内科医9人、消化器外科医5人の計14人と、近隣の病院と比較しても十分な医師体制を確保し、専門的な医療を行っています。

特に内視鏡センターでは、最新の内視鏡機器で上部消化管内視鏡（胃カメラ）や下部消化管内視鏡（大腸ファイバー）を駆使して、年間約6000件の検査、処置、手術を実施しており、消化器の病変（がんを含む）の発見や治療に努めています。

また市立病院は、便潜血が陽性で、上部消化管内視鏡や下部消化管内視鏡でも出血源が明らかでない場合にカプセル内視鏡や小腸ファイバーなどを使用して小腸の検査ができる数少ない病院でもあります。

検査で見つかった病変は、その状態に合わせて、内視鏡を使

用したポリペクトミー（用語説明①）、EMR（同②）、ESD（同③）などと呼ばれる患者の負担が少ない治療を選択し、病変が大きい場合や消化管の壁に深く達して内視鏡による切除が不適切な場合は外科チームによる腹腔鏡手術（同④）や開腹手術（同⑤）を行うなど、病期に合わせて幅広い消化管治療を実施しています。

このように、市立病院は異常の発見から治療までを一貫してできる病院であり、特に検査段階で早期に病変を発見した場合には、より体にやさしい処置・手術で済むように心がけています。少しでも「おかしいな？」と思ったらすぐに検査を受けていただくことをおすすめします。

用語の説明

①ポリペクトミー（内視鏡下ポリプ切除術）：脹らみが高く、浅く、小さめの病変に対して、内視鏡の先端からスネアという通電ワイヤを腫瘍に引っ掛けて焼き切る手術です。

②EMR（内視鏡下粘膜切除術）

：脹らみが低く、浅く、小さめの病変に対して、腫瘍の下に生理食塩水を注入し、脹らみを作ってからポリペクトミーと同様の手術をします。

③ESD（内視鏡下粘膜下層剥離術）：EMRで切除困難な広範囲の病変に対して、腫瘍の下に生理食塩水を注入し、電気メスで切除する手術です。

④腹腔鏡手術：皮膚の数か所を2cm程度切り、そこからカメラや鉗子（かんし）を挿入し、腫瘍を切り取る手術です。

⑤開腹術：お腹をメスで切り、手で直接腫瘍を切り取るテレビでおなじみの手術です。

問合 市立病院内視鏡センター
（☎32・5622）



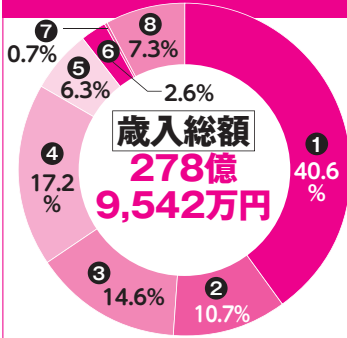
来年1月から市立病院副院長として就任します。

岩橋 誠 Dr. IWAHASHI Makoto



昭和 61 年和歌山県立医科大学卒業後、25 年以上にわたり外科診療および研究を行ってきた俊英で、日本消化器外科学会の評議員をはじめ、日本癌治療学会、日本胃癌学会、日本食道学会の評議員など、日本の主要な学会の役員を多く務められています。「早期のがん」では腹腔鏡補助手術や機能温存手術を、「進行したがん」では拡大手術と抗癌剤治療や免疫療法を組み合わせた集学的治療などがんの進み具合に応じた治療を行い、消化器疾患とくに上部消化管（食道、胃）の外科手術の名手として知られています。

一般会計の決算状況



①市税 113億2,623万円

【市税】の内訳

個人市民税	33億9,505万円
法人市民税	9億3,067万円
固定資産税	52億9,768万円
軽自動車税	7,988万円
市たばこ税	6億368万円
都市計画税	10億1,927万円

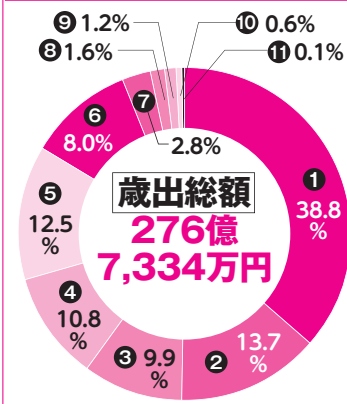
②市債	29億8,711万円
③地方交付税	40億6,547万円
④国庫支出金	47億9,799万円
⑤府支出金	17億4,760万円
⑥地方消費税交付金	7億2,315万円
⑦繰入金	1億9,001万円
⑧その他	20億5,786万円

【⑧その他】の内訳

諸収入	5億8,512万円
使用料および手数料	4億4,764万円
分担金及び負担金	1億9,574万円
地方譲与税	1億9,344万円
地方特例交付金	1億4,362万円
自動車取得税交付金	5,644万円
繰越金	1億6,120万円
財産収入	8,323万円
利子割交付金	4,183万円
配当割交付金	2,714万円
交通安全対策特別交付金	1,456万円
寄付金	1億187万円
株式等譲与所得割交付金	605万円

①民生費 107億3,757万円

②公債費	37億8,998万円
③総務費	27億3,574万円
④土木費	29億8,213万円
⑤衛生費	34億5,743万円
⑥教育費	22億2,809万円
⑦消防費	7億8,294万円
⑧諸支出金	4億4,190万円
⑨議会費	3億3,281万円
⑩商工費	1億5,519万円
⑪農林水産業費	2,956万円



■人件費

職員給は1億3000万円、国勢調査等にかかる指導員・調査員への報酬が2600万円の減となった一方、退職手当が1億4400万円、地方議会議員年金制度の廃止により議員共済会補給金が8300万円の増などにより、人件費全体では前年

依然止まらず

一般会計 歳出の概要

社会保険費（扶助費）の増

■公債費

元金・利子など借入金返済に要する経費で、前年度に比べ約1100万円、0.3%の減となりました。このうち市債の借換に伴う公債費の償還額は6000万円の減で、これを除く実質的な公債費の額は4900万円の増となりました。

■投資的経費

小・中学校の耐震化事業費が3億3600万円、中学校改修工事費が2億1000万円の減などにより、前年度に比べ6億8900万円、28.7%の減となりました。

■物件費

予防接種委託料が7500万円の増となった一方で、緊急雇用委託料が4700万円、参議院議員通常選挙にかかる費用が

■繰入金

財政調整基金積立金が4000万円の減となった一方で、八木稔すこやか基金積立金が1億円、地域環境基金積立金が7100万円の増などにより、前年度に比べ1億3400万円の増となりました。

■繰出金

特別会計に対する事業費への一部負担などとして支出するもので、市街地再開発事業会計への繰出金が4000万円、国民健康保険事業会計への繰出金が2400万円の減となった一方で、下水道事業会計への繰出金が5000万円、後期高齢者医療広域連合負担金が4000万円の増などにより、前年度に比べ5200万円、1.3%の増となりました。

(次ページへ続く)

平成23年度 会計別決算状況

会計名	歳入総額(A)	歳出総額(B)	差し引き(A)-(B)
一般会計	278億9,542万円	276億7,334万円	2億2,208万円
特別会計	180億2,653万円	203億9,527万円	▲23億6,874万円
土地取得事業特別会計	2億8,077万円	2億8,077万円	0万円
国民健康保険事業特別会計	86億8,023万円	91億9,574万円	▲5億1,551万円
介護保険事業特別会計	37億3,402万円	37億3,236万円	166万円
後期高齢者医療特別会計	6億4,451万円	6億2,530万円	1,921万円
駐車場事業特別会計	2億8,338万円	12億3,285万円	▲9億4,947万円
下水道事業特別会計	44億362万円	53億2,825万円	▲9億2,463万円
合計	459億2,195万円	480億6,861万円	▲21億4,666万円

会計名	流動資産合計額(A)	流動負債合計額(B)	実質資金過不足額(A)-(B)
企業会計	26億7,480万円	19億6,201万円	7億1,279万円
水道事業会計	13億88万円	2億6,596万円	10億3,492万円
病院事業会計	13億7,393万円	16億9,605万円	▲3億2,212万円

※端数処理の関係で会計ごとの歳入・歳出総額および形式収支（企業会計の場合は流動資産・負債合計額および実質資金過不足額）と計が一致しないことがあります。

一般会計 歳入の概要

1億円寄付で

八木稔すこやか基金を創設

■市税

平成22年度と比較しますと、歳入の根幹である市税は、東日本大震災をはじめとする景気低迷による影響などから、固定資産税が9200万円、個人市民税が6300万円の減となりましたが、法人市民税が1億200万円、市たばこ税が6000万円の増などから、市税全体では前年度に比べ3500万円、0.3%の増となりました。

■譲与税・交付金

児童手当及び子ども手当特例交付金が3300万円、地方消費税交付金が2200万円、自動車取得税交付金が1000万円の減などから、前年度に比べ5500万円、4.4%の減となりました。

■地方交付税

地方財源の均衡化を図るため、国税の一定割合が地方公共団体に交付されるもので、普通交付税及び特別交付税は前年度並みとなり350万円、0.1%の増となりました。

■使用料および手数料

ごみ袋有料化に伴う一般家庭ごみ収集手数料が6900万円、平成23年6月に供用した新火葬場「ゆうしお」の火葬場使用料が1200万円の増などから、前年度に比べ7400万円、20.0%の増となりました。

■国庫支出金

生活保護費負担金が1億8000万円、耐震化事業における中学校整備事業費交付金が1億3000万円の増となった一方、市内小学校の耐震化事業における小学校整備事業費交付金が3億4800万円、地域活性

平成23年度の一般会計における最終予算現額は285億6927万円となり、この予算に対する決算額は、歳入278億9542万円、歳出276億7334万円で、差し引き2億2208万円の黒字となり、このうち23年度への繰越事業充当財源8100万円を差し引いた実質収支は1億4108万円の黒字となりました。また、22年度の実質収支は1億507万円であることから、23年度の実質収支から22年度の実質収支を差し引いた単年度収支は3601万円となり、20年度以来の黒字に転じました。

化・公共投資臨時交付金が1億6300万円の減などにより、前年度に比べ2億600万円、4.1%の減となりました。

■府支出金

緊急雇用創出基金補助金が6000万円、国勢調査に係る委託金が3500万円の減となった一方、権限移譲推進特別交付金が3800万円、子宮頸がん等ワクチン接種促進事業補助金が3600万円、大阪府知事選挙にかかる委託金が2200万円の増などにより、前年度に比べ6600万円、3.9%の増となりました。

■財産収入

土地売却収入の減などにより、前年度に比べ1200万円、12.6%の減となりました。

■寄付金

八木稔利武氏の寄付金などにより、総額1億200万円、

1600万円の減などを合わせて、前年度に比べほぼ同額の267万円、0.1%の減となりました。

■補助費等

病院事業会計への繰出金が2億2400万円、泉北環境整備施設組合負担金（清掃）が6300万円の減などにより、前年度に比べ3億円、10.5%の減となりました。

■積立金

財政調整基金積立金が4000万円の減となった一方で、八木稔すこやか基金積立金が1億円、地域環境基金積立金が7100万円の増などにより、前年度に比べ1億3400万円の増となりました。

■繰出金

特別会計に対する事業費への一部負担などとして支出するもので、市街地再開発事業会計への繰出金が4000万円、国民健康保険事業会計への繰出金が2400万円の減となった一方で、下水道事業会計への繰出金が5000万円、後期高齢者医療広域連合負担金が4000万円の増などにより、前年度に比べ5200万円、1.3%の増となりました。

平成23年度決算

◎健全化判断比率は実質公債費比率を除き改善
◎一般会計は8年連続の黒字を達成



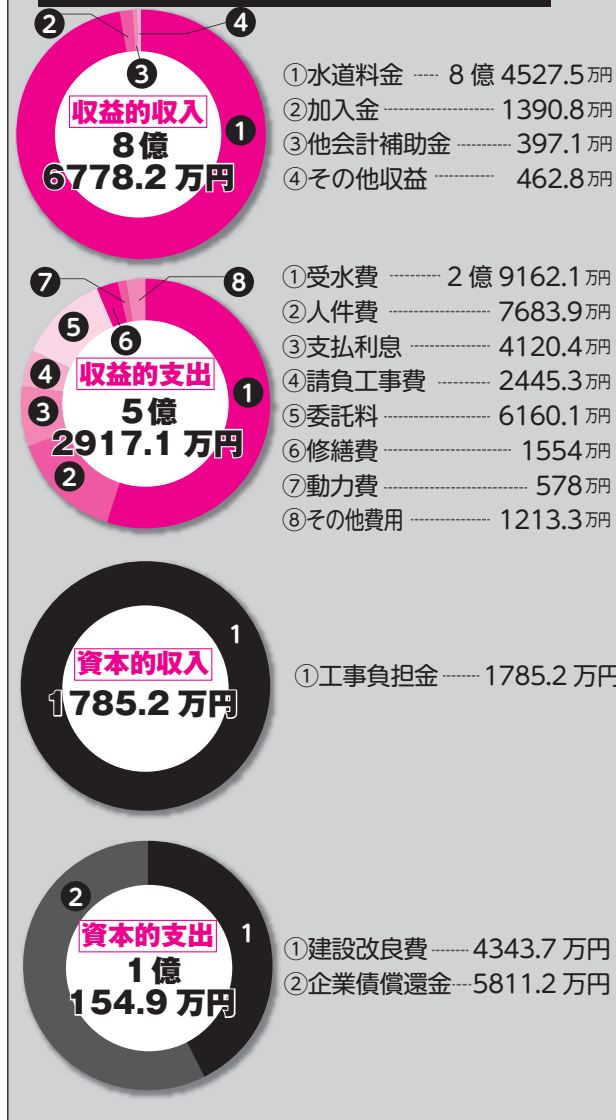
■ 水道の普及状況

区分	H24.9.30 現在	H24.3.31 現在
給水人口	7 万 7,229 人	7 万 7,294 人
給水戸数	3 万 5,148 戸	3 万 4,735 戸
普及率	100%	100%

■ 配水量および有収水量など

区分	H24.4.1～9.30	H23.4.1～H24.3.31
配水量	452 万 9,060 m ³	899 万 8,948 m ³
一日平均配水量	1 万 2,402 m ³	2 万 4,587 m ³
一日最大配水量	2 万 7,522 m ³	2 万 8,724 m ³
有収水量	426 万 4,774 m ³	858 万 7,859 m ³
有収率	94.2%	95.4%

平成 24 年度 上半期業務状況



水道関係の訪問販売にご注意を！

水道の新設・改造（蛇口の交換は除く）は市指定給水装置工事事業者以外には行うことができません。

また、最近、水道や下水道関係の訪問販売や電話による勧誘に関する問い合わせが市に多く寄せられています。次のようなことは、市では行っていませんのでご注意ください。

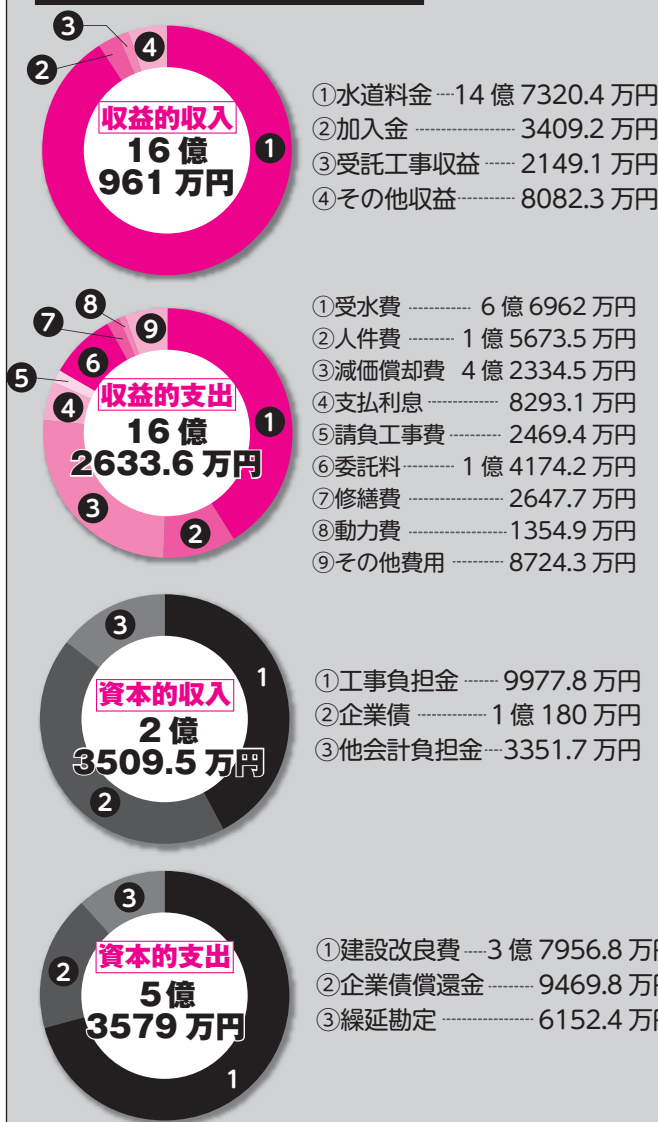
▷市民の皆さんから直接ご依頼のない水質検査
▷浄水器などの取り付け・販売および点検や部品交換
▷宅地内での水道管や下水管の管洗淨

市の水道課・下水道課が工事を施工する場合は、事前に「工



水道事業の業務状況・決算

平成 23 年度 決算状況



■ 平成 23 年度 水道事業会計収支

平成 23 年度の決算状況は、収益的収支（1 年間の企業の経営活動に伴って発生するすべての収益と費用で、いわゆるその企業の経営成績を表すもの）は、収益的収入の合計額が 16 億 961 万円、収益的支出の合計額が、16 億 2633.6 万円となり収支を差し引きますと、1672.6 万円の赤字となり、今までの分を合計すると、23 年度までで、2 億 8737.1 万円の赤字となっています。

■わたしたちの財産など

●市債現在高(平成24年6月30日現在)

会 計 名	現 在 高
一 般 会 計	287億6,646 万円
土 地 取 得 事 業 特 別 会 計	31億1,200 万円
駐 車 場 事 業 特 別 会 計	2億7,616 万円
下 水 道 事 業 特 別 会 計	287億6,165 万円
水 道 事 業 会 計	37億8,746 万円
病 院 事 業 会 計	79億4,586 万円
合 計	726億4,959 万円

●市財産の現在高(平成24年6月30日現在)

区 分	現 在 高
有 価 証 券	7億3,350 万円
財 政 調 整 基 金	3億 558 万円
都 市 施 設 整 備 基 金	6億4,336 万円
福 祉 基 金	1,776 万円
交 流 と ふ れ あ い の ま ち づ くり 基 金	2億5,738 万円
減 債 基 金	4,278 万円
基 深 喜 人 材 育 成 基 金	1億4,081 万円
公 園 墓 地 基 金	4,841 万円
介 護 給 付 費 準 備 基 金	7,677 万円
辻 川 穂 太 郎 や す ら ぎ 基 金	9,480 万円
泉 大 津 市 が ん ば ろ う 基 金	444 万円
介 護 従 事 者 処 遇 改 善 臨 時 特 例 基 金	0 万円
佐 野 幸 子 基 金	4,029 万円
地 域 環 境 基 金	2,662 万円
八 木 稔 す こ や か 基 金	1 億円
環 境 整 備 資 金 貸 付 基 金	5,785 万円
小 計	18億5,685 万円
合 計	25億9,035 万円

■ 本市の歳出・歳入を「市民1人あたり」に換算すると…

【市民1人あたりが納める市税の内訳】

合計納税額…14 万 6,534 円

区分	決算額	比率
固定資産税	6万8,539円	46.8%
個人市民税	4万3,924円	30.0%
都市計画税	1万3,187円	9.0%
法人市民税	1万2,041円	8.2%
その他	8,843円	6.0%

※「その他」の内訳…市たばこ税・軽自動車税

【市民1人あたりの歳出の内訳】

合計歳出額…35 万 8,027 円

区分	決算額	説 明
民生費	13万8,919円	高齢者や障がい者、子どもなどの福祉関係
公債費	4万9,033円	借入金の返済にあてる経費
総務費	3万5,394円	情報管理、広報、文化振興などの関係
土木費	3万8,582円	道路・歩道・公園整備や管理関係
衛生費	4万4,731円	地域保健やごみ処理などの関係
教育費	2万8,826円	学校教育や生涯学習などの関係
消防費	1万 129円	消防や災害対策などの関係
その他	1万2,413円	議会費や商工費など



（平成23年度決算）の続き）

平成 23 年度決算の健全化判断比率と資金不足比率

平成 20 年 4 月から「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行され、地方公共団体は実質赤字のほか、特別会計・企業会計や第三セクターを含めた連結ベースでの実質赤字、実質的な地方債の元利償還金が財政に及ぼす負担を示す実質公債費比率、将来において償還すべき実質的な負担を示す将来負担比率の 4 指標（以下、健全化判断比率という）と、公営企業ごとの資金不足を表す指標（以下、資金不足比率という）を議会に報告し、公表を行っています。平成 23 年度決算における本市の健全化判断比率および資金不足比率は右表のとおりです。

■ H23年度決算における本市の健全化判断比率と資金不足比率

（単位：％）

健全化判断比率	泉大津市		早期健全化基準		財政再生基準	
	H23	H22	H23	H22	H23	H22
実質赤字比率	-	-	12.70	12.70	20.0	
連結実質赤字比率	3.34	7.64	17.70	17.70	30.0	35.0
実質公債費比率	18.7	18.5	25.0		35.0	
将来負担比率	194.0	216.1	350.0			

会計名	水道事業会計		病院事業会計		下水道事業特別会計		市街地再開発事業特別会計		経営健全化基準
	H23	H22	H23	H22	H23	H22	H23	H22	
資金不足比率	-	-	5.5	5.3	-	-	-	-	20.0

平成 25 年度 予算編成方針の概要

「環境」「教育」「福祉」「危機管理」などの分野に一定の配慮をした予算編成

泉大津市の課題

泉大津市の平成 23 年度決算では、特別会計・企業会計を含めた連結実質赤字比率が平成 22 年度決算より 4.3%改善しましたが、全国で連結実質赤字比率を計上している市町村は 9 団体、大阪府内では 2 団体のみであり、依然として厳しい財政状況が続いています。

また、特別会計・企業会計の決算については、一般会計からの繰出により改善は図られてはいるものの、特に病院事業会計については、その経営状況によっては市政全般に影響を及ぼすことから、本市の財政運営にあたっての大きな懸案事項となっています。

このような状況の中、平成 25 年度においても、早期健全化団体とならないことはもちろんのこと、各種事務事業の見直しなどを行いつつ、事業の緊急性・必要性を十分勘案したうえで、財政健全化に努める必要があります。

平成 25 年度予算編成に当たっての考え方

これまでと同様、財政健全化に努める一方で、事務事業の効果を見極めたうえで、住んでみたい、人にやさしいまちを目指し、環境・教育・福祉・危機管理など、市民生活に密接に関わる事業に一定の配慮をした予算を目指すこととします。

●一般会計を始めとした全会計において、引き続き財政健全化を推進し、特に赤字を抱える会計については、実質赤字や資金不足の改善に努めるものとする。

●平成 25 年度の予算要求額については、現下の財政状況を踏まえ、平成 24 年度当初予算額の範囲内とする。

●環境・教育・福祉・危機管理など、市民生活に密接に関わる事業については、一定配慮するものとする。

問合 財政課（市役所 4 階）